



設置、メンテナンス、アップグレード

- [ホスト コンピュータへの接続 \(1 ページ\)](#)
- [モジュール ドックの再起動 \(2 ページ\)](#)
- [モジュール ドックを工場出荷時設定に戻す \(2 ページ\)](#)

ホスト コンピュータへの接続



(注) 次のガイドラインは、モジュール ドックを安全かつ適切に使用するのに役立ちます。

- モジュールドックは、ポートあたり 900 mA を供給可能な自己電源ハブに接続できます。バス電源のハブには接続しないでください。
- パッケージに含まれる 30 cm (12 インチ) USB 2.0 Y 字型ケーブルを使用して、モジュールドックをホストコンピュータに接続することをお勧めします。別のケーブルを使用する場合は、1 m (40 インチ) 未満のタイプ A からタイプ B ケーブルで、電源のみの端の最小ワイヤサイズが 24 AWG である必要があります。
- モジュールドックを USB 延長ケーブルに接続しないでください。
- モジュールドックは、他の USB デバイスと同時にホストコンピュータに安全に接続できます。ただし、一度に複数のモジュール ドック ユニットをホストコンピュータに接続しないでください。
- センサー モジュールは RJ-45 ポートにのみ接続します。センサー SFP のみを SFP ポートに接続します。他の機器はモジュール ドックでサポートされていません。
- 迅速に再起動するには、ホスト コンピュータを再起動する前にモジュール ドックを取り外すことを推奨します。
- センサーモジュールとセンサー SFP の両方を同時にモジュール ドックに接続できますが、一方のデバイスのみを接続した場合に、システムのパフォーマンスが向上します。
- モジュール ドックを使用してセンサー SFP およびセンサーモジュールを管理する方法については、ユーザーガイドを参照してください。

モジュール ドックをホスト コンピュータに接続するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 付属の USB 2.0 Y 字型ケーブルをモジュールドックの USB ポートから次のいずれかに接続します。

- ホストコンピュータの SuperSpeed USB 3.x ポート x 1（Y 字型ケーブルの電源およびデータ側を使用）。Y 字型ケーブルの電源側のみを外したままにします。
- ホストコンピュータ上の 2 つの高速 USB 2.0 ポート（Y 字型ケーブルの電源とデータの両方、および電源のみの端を使用）。

ステップ 2 次のいずれか 1 つまたは両方の操作を実行します。

- センサー SFP をモジュールドックの SFP ポートに挿入します。
- イーサネット（パッチコード）ケーブルを使用して、センサーモジュールをモジュール ドック RJ-45 ポートに接続します。

ユニットが起動すると、モジュール ドックの電源 LED がオレンジ色に点灯します。電源 LED が緑色に点灯したら、アクティブな接続デバイスを設定できます。

モジュール ドックの再起動

モジュール ドックを再起動するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 モジュールドックがファームウェアの更新やその他の操作をアクティブに実行していないことを確認します。

ステップ 2 ユニットの側面にある **リセット** ボタン（左の番号付き図の）を押して放します。

ステップ 3 確認メッセージが表示されたら **[OK]** をクリックします。

ユニットの電源 LED が再起動するとオレンジ色に点灯します。

モジュール ドックを工場出荷時設定に戻す

モジュール ドックを工場出荷時の設定に戻すには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** モジュール ドックがファームウェアの更新やその他の操作をアクティブに実行していないことを確認します。
- ステップ 2** 電源を投入して、**リセット** ボタンを 10 秒以上押し続けます。
- 工場出荷時のデフォルト設定が適用されると、ユニットの電源LEDがゆっくりと点滅し始めます。装置は約 3 分以内にメイン ページをリロードします。
-

モジュール ドックを工場出荷時設定に戻す

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。